

解答

一

- (9) (1) エ
(10) (2) イ
(3) エ
(4) ウ
(5) ア
(6) ア
(7) 首
(8) ア

二

- (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
① まよ〔って〕 ② と〔じ〕 ③ かつて ④ ちよがみ ⑤ あたた〔かい〕
ヒバリの巣を見つける〔ため〕
ひづる先生が結婚して東京へ行ってしまい、お嫁さんになること。
イ そうっと
ア
イ 新子のマイ
探していたヒバリの巣を見つけることができたので、ひづる先生は幸せになるだろうと思ったが、別れはさみしく、悲しい気持ち。

三

- (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
ア ① 姿 ② 消費 ③ 積〔み〕 ④ 昔 ⑤ 経済
春になっただけで村の暮らしが成り立つはずはないこと。
記憶
ウ
イ 人々は知性が生みだした科学を唯一の真理だと考えるのではなく、知性の奥にある感覚を大事にする。
知性の力だけでは答えの出せない問い
(／は段落を変えることです)
私の考える「心の豊かさ」は、気持ちや時間の余裕があるときに物事を自由に考えるということです。／
自分の置かれた環境や時間を気にすることなく、楽しみながら好きなことを自由に考えられることは幸せであり、心の豊かさにつながると思うからです。

解説

二

- (4) 傍線3の前で「ええと、うちの家の松と、あの電信柱の真中ぐらいたった……。」とヒバリが落ちてきた場所を確認しているので、選択肢イが選べます。
(7) 傍線5の前後に「その中に、千代紙で作ったような三角形のくちばしが三つ。踊ってるみたいにユラユラ動いている。」「何て小さいの。」とあることから、「とてもかわいらしい」という記述を含む選択肢イがもっとも適切です。

三

- (3) 直前の段落に「それ」の指す内容が述べられています。野の草が芽を伸ばし、釣りが解禁になったからといって、現代人の暮らしが成り立つはずがないという内容を、設問の指示にしたがってわかりやすく説明します。
(6) 傍線2を含む段落では、私が知性と記憶のくい違いがもたらすアンバランスのなかに生きている自分を感じて、現代という時代があるのだと考えていることを述べています。本文の終わりにある「しかし、そういった」で始まる段落に今日の世界について説明があり、選択肢イがもっとも適切であることがわかります。